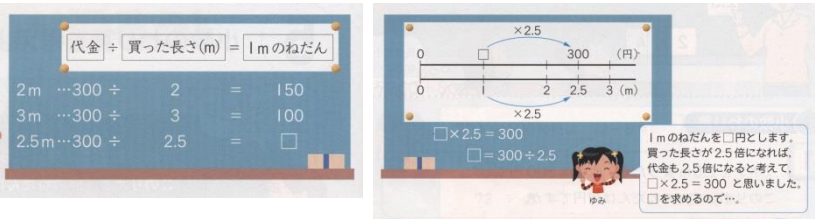


月日 (校時)	単元名	教材名
6月15日 (金) 2校時	小数のわり算	小数のわり算を考えよう
本時のねらい 本時 (1/14) ○小数でわることの意味を理解する。		
評価規準 関 ÷小数の意味について、これまでの「全体量÷何こ分」が適用できないことに気づき、意味を広げて考えようとしている。(ノート・発言) 考 ÷小数の意味を、既習の計算や数直線などを用いて考え、筋道立てて説明している。(ノート・発言)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
<b>【導入】</b> 9 : 30	○P.48の問題を解いて、これまで学習してきたわり算にどんな性質があったのか、隣の人と交流してください。 ・わられる数とわる数に同じ数をかけても商は同じになります。	・問題を解かせることで、既習の除法計算とわり算の性質をおさえる。
<b>【展開】</b> 問題提示 9 : 35  課題把握 ・問いの共有 9 : 40 ・シラバス  ・言語わざ ・キーワード 9 : 43 解決活動 ・1人学び ・班学び  集団解決 ・学び合い 9 : 55 ・考察 10 : 05 まとめ 10 : 08	1 問題を読む。 リボンを□m買ったなら、代金は300円でした。 このリボン1mのねだんは何円ですか。 ○「□mが3m」のときは、どんな式・答えになるでしょう。 ・式 $300 \div 3 = 100$ 答え <u>100円</u> 1mのねだんは100円です。 ○「□が2.5m」のときは、どんな式になるでしょう。 ・式 $300 \div 2.5$ でいいのかな… 理由は、数直線を使うと～…言葉の式に当てはめると～… リボンの長さが小数の場合の式と理由を考え、言葉の式や数直線を使って説明しよう。 (一人学び (6分)・班学び (6分)・学び合い (10分)・まとめ (3分)・振り返り (3分)) 「理由をつけて説明する。」 (小数、整数、代金、買った長さ、1mのねだん、比例…) 3 リボンの長さが小数の場合の式と理由を説明し合う。 ○数直線や言葉を使って式と理由を説明しましょう。 班でホワイトボードにまとめましょう。  4 本時の学習をまとめる。 リボンの長さが小数の場合でも1mのねだんを求めるときには、整数のときと同じように、わり算で求められる。	・問題文の□に3(整数)を入れて問題を把握させ、2.5(小数)の数値を入れた時点で式をイメージさせる。 ・既習から解き方の見通しを持たせ、本時の課題を設定できるように促す。 関 ÷小数の意味について、これまでの「全体量÷何こ分」が適用できないことに気づき、意味を広げて考えようとしている。(ノート・発言) ・2.5mという長さが捉えられない児童には、リボンを使って実際の長さを体感させる。 考 ÷小数の意味を、既習の計算や数直線などを用いて考え、筋道立てて説明している。(ノート・発言)
<b>【終末】</b> 振り返り 10 : 11  10 : 15	5 学習したことを振り返る。 ・代金は、リボンの長さに比例するので、整数のときと同じようにわり算をすればよいことが分かりました。	・本時の学習を振り返らせ、次時は、 $300 \div 2.5$ の計算の仕方を考えることを伝える。